

年表

1978 (昭和53)年

「日中平和友好条約」締結

1983 (昭和58)年

8月6日

「多久市日中友好協会」設立

1984 (昭和59)年

3月 第1次訪中団

曲阜を訪問し、友好都市締結のための意見交換を行う

1986 (昭和61)年

第2次訪中団

1989 (平成元)年

孔子直系の子孫・孔德懋女士と曲阜副市長が多久に初来訪

1991 (平成3)年

第1回孔子祭を開催

その際、「腰鼓」を初披露

1993 (平成5)年

8月27日、第7次訪中

曲阜市と友好都市締結のため、市長の親書を携えて、北京中日友好協会と曲阜市を訪問

11月23日 多久市・曲阜市友好都市盟約締結

1997 (平成9)年

孔子像除幕式(曲阜市寄贈)

1998 (平成10)年

第1次「市民の翼」スタート

2013 (平成25)年

友好都市締結20周年

友好都市を機に
深まる絆

友好都市が締結されてから交流はさらに積極的に行われ、毎年の草根友好訪中団と、市主催による訪中団「市民の翼」で多くの市民が中国を訪れました。

さらに1995 (平成7)年には、曲阜市の古楽舞団の指導者を多久に迎え「釈菜の舞」を教わり、「獅子舞」や「腰鼓」などの伝統芸能も東原岸舎西溪校や市民グループに受け継がれました。

その推進や日中の交流事業には、揚琴奏者でもある趙勇さんの尽力が大きいと尾形さんは話します。



(北京市天安門広場)

第1次訪中団



(曲阜市)

孔廟大成殿前で、多久市民が釈菜の舞を披露

「ようやく、ここまでの関係が築けました。互いの文化や風習を認め合い、草の根で繋がっていけば崩れることはありません。両国がこれからもずっと仲良くいられるよう、細く長く民間外交が続いていくように頑張りたいです」と尾形さん。

2月に友好協会が行った写真展「多久日中友好35周年のあゆみ」には、微笑み握手を交わす人々の写真が多数展示されていました。両国の輝く笑顔こそが、民間外交で繋がった絆の証と言えるでしょう。



(曲阜市)

多久市訪中団のために披露された釈菜の舞後の記念撮影

交流の歩み

土橋哲也さん

「これまで、20回以上中国に行き、伝統文化の素晴らしさや遺跡に触れ、スケールの大きさを感じます。曲阜市では親しみを込めて、古い友人という意味の「老朋友」と声をかけられます。いつも熱烈歓迎していただいていますよ。」

高屋ハマ子さん

「日本は中国からたくさん文化をいただいているから、草の根交流になるなら喜んでと思って、みなさんの後についてきました。孔徳懋さんのご自宅に訪問させていただいたことも良い思い出です。」

問 多久市日中友好協会事務局

☎75-24456

(尾形)



热烈欢迎日本国多久市友好访问团

热烈欢迎日本国多久市友好访问团